

# 農業委員会の委員が決定!!

8月12日(日)執行予定の町農業委員会委員選挙が8月7日(火)に告示されましたが、立候補者が定数(15人)を超えなかったため、無投票となり、全員が委員として当選されました。当選者には、町選挙管理委員会委員長から、8月14日(火)に当選証書が付与されました。当選された方は、次のとおりです。

- (敬称略・届出順)
- 山口 禎之
  - 仲川 壽男
  - 小島 義明
  - 加藤 敏行
  - 守屋 友春
  - 古正 利夫
  - 吉川 修一郎
  - 高島 利也
  - 野崎 健一
  - 山口 陽一
  - 今井 祥幸
  - 鈴木 正直
  - 青木 貞治
  - 鈴木 教夫
  - 籾島 金造

◎問い合わせ 選挙管理委員会  
☎内線2228

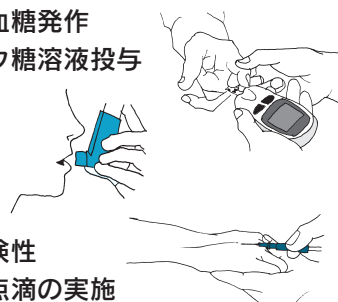
## 救急救命士による 処置範囲の拡大へ

町では、厚生労働省や消防庁からの助言などを得て、「救急救命士の処置範囲に係る実証研究」のモデル事業を行います。9月から来年1月までの間、医療機関、医師会などの地域の救急医療協議会の連携のもと、医師の具体的な指示を受けて救急現場や救急車内等で救急救命士が行える処置の範囲が広がります。

なお、傷病者の方が、今回の拡大される救急救命士による処置を断ったとしても、これまで通りの救急搬送が行われます。

### 拡大される処置内容

- (1) 血糖測定と低血糖発作 症例へのブドウ糖溶液投与
- (2) 重症喘息患者 に対するβ刺激薬の使用
- (3) 心肺停止の危険性 がある患者に点滴の実施



## 「ババ存じですか?」救急の日

9月9日は「救急の日」

皆さんの理解が深められますよう、ご協力をお願いします。

「救急の日」は、昭和57年に救急医療と救急業務について、正しい理解と認識を深めて、救急業務に従事する者の意識を高めるために制定されました。そして、この日を含む1週間を「救急医療週間」(9月9日～15日)としています。

この機会に応急手当の重要性を再確認し、救急業務に対する



◎問い合わせ 消防署 ☎(61)0911

# 磯っ子レポート

No.100

## 大磯の夏

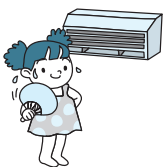
今年の夏は毎日暑い日が続き、大磯町も夏色一色でした。大磯は日本初の海水浴場であったり、アオバトが海水を飲み海に来るなど、その名を日本にとどろかせています。そのため、夏になると、その実感が一層感じられます。

また、夏とはあまり関係がありませんが、大磯にはもつと誇れることがあります。伊藤博文の本邸滄浪閣があります。かつて内閣制度を確立し、初代内閣総理大臣となった人物がこの地に住んでいたということは、とても誇らしいことだと思えます。

話は変わりますが、東日本大震災で被災された人々は、暑い夏でも復興に向けて大きく歩みを進めています。私たちにできることを考え、電気節約などを心がけて欲しいと思います。

今年の夏は、日に日に気温が上昇し、私は部活に励みましたが、汗が止まることはありませんでした。皆さんも、体調管理には気を付けてください。

まだまだ暑い日が続きます



すが、水分を早めに補給し、無理せず、楽しい時間を過ごしましょう。(内海 帆奈美)

## 夏季祭典

7月15～16日夏季祭典があり、山王町の山車は朝から太鼓をひびかせて走っていました。山車乗車時間が近づいたので、頭にはちまきを巻き、はつぴを着て帯をしめると暑くてたまりません。日枝神社から山車に乗ると風が気持ちよく吹いてきました。太鼓をたたく音が山にひびいてきれいでした。山車を降りたらごほうびのお菓子がもらえました。

最後の山車乗車は高麗山車に乗りました。山王町の山車よりも広く、太鼓は座ってたくやり方でした。太鼓の城田先生は山王町の山車に乗車していたので、高麗山車の仲間たちと太鼓の曲や順番を話し合っ出て発しました。太鼓をたたくバチが仲間にあたりそうまでヒヤヒヤしました。かけ声もいっぱい出してとても楽しく、時間がとても短く感じました。(榎本 笙平)

◎問い合わせ 政策課 ☎内線207